

2023(令和5)年度 皮革業界総合研修〔後期コース〕

<募集案内>

主催 大阪府
近畿経済産業局

共催 (地独)大阪産業技術研究所

この研修は、皮革関連産業の振興のため、関連企業の経営者並びに従業員の方々に、最新の業界の動向やトレンド、あるいは実践的な経営の知識等を身につけていただけるよう、各界の著名な講師を招いて時流にあったテーマで実施します。

後期コースは、経営管理、製革技術関係の幅広い知識等を身に付けていただける内容で開催しますので、奮ってご参加ください。

開催要領

1 日時・テーマ・講師等

	日時	テーマ	講師 (敬称略)	内容	場所	定員
1	12/13(水) 18:30~ 20:00	皮革・革製品の サステナビリ ティ	(株)川善商店 代表取締役 / Thinking Leather Action(TLA) 座長 川北 芳弘	昨今、皮革・革製品に対する否定的で誤った情報が拡散されています。(一社)日本皮革産業連合会は、それらの誤った認識を払拭し、皮革・革製品はエコでサステナブルであることを発信していく『Thinking Leather Action (TLA)』事業を立ち上げました。 本研修では、「実は革ってサステナブル。」をテーマに、革がなぜサステナブルであるのかを、マニュアルを用いてわかりやすく、詳しく説明します。	マイドームおおさか 4F 研修室	30 名
2	1/16(火) 18:30~ 20:30	天然皮革~ 知っておきたい 基礎知識~	元川村通商(株) 皮革物資事業本部 技術顧問 鍛冶 雅信	皮革製品の企画・製造・販売の初心者を対象に、経験豊富な皮革技術者が、「知っておきたい天然皮革の基礎知識」について説明します。主な内容は、①革の種類と特徴、②革の製造コスト、③革の良し悪し、④日本と欧州と中国の革の違い、⑤こんな革が作れます、⑥技術上の課題とその解決法についてです。今回は、⑦取り扱いの注意点についても取りあげます。	マイドームおおさか 4F 研修室	30 名
3	1/23(火) 18:30~ 20:30	これだけは知っ ておきたい革の 特性	一般財団法人日本 皮革研究所 技術 顧問・評議員 特定非営利活動法 人日本皮革技術協 会 副理事長 稲次 俊敬	『これだけは知っておきたい革の特性』について、クレーム事例から学びます。 長年 に亘る革・革製品の試験・研究に携わる傍ら、苦情相談に対応してきた経験から、クレームを防ぐためには、不良品の製造や革製品の取り扱いを誤らないように革の特性、特に、革の弱点について理解しておく必要性を強く感じています。革の染色堅牢性、耐熱性、耐薬品性、水分特性、仕上げ(塗装)膜の剥離強度等について取り上げます。 また、日本エコレザー基準(JES)認定制度がスタートして15年が経過しました。この制度の概要説明と成功事例、今後の取組みについてお話しします。	マイドームおおさか 4F 研修室	30 名

	日時	テーマ	講師 (敬称略)	内容	場所	定員
4	2/6(火) 10:00~ 12:30	[講義/工場見学] 皮革のできるま で	(株)山陽 常務取締役 塩田 和也	創業百年の国内有数の大手タンナーで、充実した設備 機器を保有し、原料皮から仕上げまで一貫生産をしてい ます。また、レザーワーキンググループの認定を受け た、国際的な環境監査基準を満たした工場です。 主要製品は、①クロム鞣しからの一般甲革及びかばん・ 袋物・ベルト用革、②タンニン鞣しからの一般甲革及びか ばん袋物革となっています。また、「日本の環境」に適合し た機能性を付加するため、透湿防水革、エコレザー、クー ルレザー、耐光(候)・抗菌防臭革等も製造・加工してい ます。本研修では、工場を見学していただくほか、皮革の製 造工程について紹介します。	株式会社山陽 (姫路市東郷町)	30 名
5	2/9(金) 18:30~ 20:30	「かわ」とサステ ナビリティ	靴ジャーナリスト 大谷 知子	動物愛護などの観点から革の使用を嫌う風潮が存在し ます。しかし、人が命を繋ぐために狩りによって得た肉を 食した後に残った皮を有効に活用することから、革は生ま れました。現代では、狩りは畜産という産業に置き換えら れ、オリジンをイメージすることは困難ですが、その構造 は、変わりません。革についての正しい認識を促し、広め るために、皮(原皮)は、どのように生まれ、皮以外の食 肉にとっての廃棄物が、いかに活用されているか、そして 皮から革を製造する鞣し産業が、サステナビリティに対し てどのような取組みを行っているかをひも解きます。	マイドームおおさか 4F 研修室	30 名
6	2/13(火) 18:30~ 20:30	革とものづく り～令和時代 の外注との付 き合い方	浪速屋工業(株) 取締役営業部長 横井 友哉 レザーワーク コーディネー ター: 工房CC 代表 村木 ルイ	新型コロナや物価高の影響で厳しい状況が続く中、人手 不足に悩まされていることはないでしょうか?例えば、 「自社のチラシを作る」、「HPを作る」、「Blogを定期的 にきっちり更新する」、あるいは、「ミシン縫製や製品づくり の外注をお願いする」、「何かを作る」という行為は専門職 ですが、これらを内部で雇うか、外部に求めるかは難しい 問題です。 今回は元カバンメーカーで営業・外注管理を行っていた 豊富な経験を持ち、現在取締役部長として人の管理を行っ ている横井氏と一緒に「クリエイターやデザイナーを雇う メリットとリスク」「ランサーズなどでIT系の仕事(デザイ ンやHP作成)などをする際どういうふうに頼めばいい か?」「この頼み方をやると見限られる!」「SNSの外注は ありかなしか?当社ではこうしている!」などを解説して いきます。 ネットまたはリアルで外注を頼みたい人、外注仕事を受け 取りたい人、両方の助けになる内容をお伝えします。	マイドームおおさか 4F 研修室	30 名

2 受講対象者

大阪府内皮革関連業界の経営者並びにその従業員(今後皮革業界で開業又は従事しようとする方を含む)

3 受講料

無料。但し、研修会場までの交通費等については、自己負担とします。

4 修了証書

6講座中4講座以上出席した方に修了証書を交付します。

(大阪府商工労働部 中小企業支援室 ものづくり支援課 ものづくり振興グループより申込時に記載の住所あてに郵送しま
す。)

5 申込方法(インターネットでの申込が便利です)

インターネットで申し込む場合は、右のQRコードよりお申込みください。

郵送またはFAXで申し込む場合は、別紙受講申込書により

[大阪府商工労働部 中小企業支援室 商業振興課 商業振興グループ]あて、郵送またはFAXにてお申込み
ください。

▼申込みはコチラから



※ 申込締切は各開催日の1週間前までとし、先着順で受け付けます。但し、定員に達した場合には、
その時点で締め切らせていただきます。2/6(火)の工場見学に参加いただく方には、別途詳細案内を通知します。そ
他の講座については、受験票の送付などの連絡はしませんので、受付不可の旨の連絡がない限り、当日現地にお越し
ください。

※ 工場見学については、1社からの申込は2名までとします。

※ 上記工場見学以外の講座については1社から複数名のお申込みは可能ですが、定員を超えた申込みがあった際には、
1社あたりの参加人数を調整させていただく場合がございますので、ご了承ください(別途連絡します)。

<申込み先>

大阪府商工労働部 中小企業支援室 商業振興課 商業振興グループ〔担当：積・東・宗尻〕

住所：〒559-8555 大阪市住之江区南港北 1-14-16 大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー）25 階

TEL：06-6210-9496 FAX：06-6210-9505

<研修内容に関する問合せ先>

・12/13(水)開催分

大阪府商工労働部 中小企業支援室 ものづくり支援課

ものづくり振興グループ〔担当：池永・小池〕TEL：06-6210-9472

・1/16(火)、1/23(火)、2/6(火)開催分

地方独立行政法人 大阪産業技術研究所〔担当：陰地(オツ)〕

TEL：0725-51-2593（陰地(オツ)）／TEL：0725-51-2525（総合受付）

・2/9(金)、2/13(火)開催分

大阪府商工労働部 中小企業支援室 商業振興課

商業振興グループ〔担当：積・東・宗尻〕 TEL：06-6210-9496

6 開催場所

○マイドームおおさか 4F 研修室 【12/13(水)、1/16(火)、1/23(火)、2/9(金)、2/13(火)】

【所在地】大阪府中央区本町橋2番5号

【大阪メトロ】堺筋線・中央線 堺筋本町駅より北東へ、徒歩約5分



○(株)山陽（工場見学）（兵庫県姫路市東郷町43番地）【2/6(火)】

※見学の詳細は、受講対象者に改めて連絡します。

集 合：9:50までに(株)山陽に集合してください。

経 路：JR姫路駅北口 14 番乗り場から神姫バスに乗り、小川橋西詰で下車し徒歩5分。

※公共交通機関利用での参加に限定し、自家用車等での参加は不可としていますのでご了承ください。

講師プロフィール

(敬称略)

1. 川北 芳弘 <(株)川善商店 代表取締役 / Thinking Leather Action(TLA) 座長>

1975年生まれ。大学を卒業後、東京の出版社、グラフィックプロダクション、広告代理店などを経て、2007年に川善商店の代表取締役に就任。また、同時に、皮革・革製品のサステナビリティを発信していくための取り組みである『Thinking Leather Action (TLA)』の座長も兼務するなど、その活動は多岐に渡る。

2. 鍛冶 雅信 <元川村通商(株) 皮革物資事業本部技術顧問>

神戸大学農学部畜産学科卒業後、ドイツの化学会社のバイエル(株)に入社。皮革部に所属し、皮革製造の技術指導で日本全国のタンナーを訪問し、皮革の本場であるドイツの研修で得た最新処方を紹介。その後、川村通商(株)に移り、皮革物資事業部で取締役部長として、植物タンニン剤を中心に皮革用薬品の販売を始め、かわへん(革偏)の物品の販売を統括。その後、技術顧問としてタンニンその他の技術指導を行う。

3. 稲欠 俊敬 <一般財団法人日本皮革研究所 技術顧問・評議員、特定非営利活動法人日本皮革技術協会 副理事長>

1979年大阪府立工業技術研究所に奉職。皮革、皮革製品の試験研究に従事。主に、革の堅ろう染色技術開発、革の製造技術開発、環境対応革の開発、革のクリーニング・メンテナンス技術、革の静電気特性に関する研究を行う。特に、皮革素材・皮革製品のクレーム相談、原因究明のための分析・解析を行う。大阪府立産業技術総合研究所皮革試験所長を経て**退職**。

現在は、一般財団法人日本皮革研究所 技術顧問、評議員を務めるかたわら、皮革関連の学術団体である特定非営利活動法人日本皮革技術協会 副理事長を務める。特に、日本エコレザー基準(JES)認定制度と皮革に関する正しい知識の普及・啓発に注力している。また、日本産業規格(JIS)の中で、皮革関連のJIS原案作成委員を務める。

4. 塩田 和也 <(株)山陽 常務取締役>

1964年生まれ。大阪府出身。大学で畜産学を学び、1990年(株)山陽に入社して以降、主に革の仕上げ部門に携わり、商品開発及び生産管理を担当。現在、仕上げ部門に従事しながら、常務取締役として、製造全般の管理、新商品の開発、新規顧客の開発を担当し、持続可能な会社を作るために活躍しLWGの取得に携わった。レザーソムリエ講師も務める。

5. 大谷 知子 <靴ジャーナリスト>

靴業界誌「フットウェア・プレス」の他、靴・皮革製品関連の出版物を発行する、ぜんしん(現在は株式会社エフ・ワークス)への入社を契機に靴の取材をスタート。1997年、靴のカルチャーマガジン「シューフィル」の創刊に参加。「シューフィル」の主筆として、海外を含め、取材・執筆活動を行う。2011年秋、シューフィルを離れ、フリーランスの立場で取材・情婦発信を行う。靴取材歴は40年以上に渡り、ビジネス、ファッション、また健康とオールラウンドにカバーしている。

6. 横井 友哉 <浪速屋工業(株) 取締役営業部長> × 村木 ルイ <工房CC代表>

■横井 友哉氏

レザークラフトフェニックスの代表者として国内外の取引先との交渉を始め事業の効率化や客先との対応などさまざまな業務を行う。コロナ以降目まぐるしく変わる業界情勢の中で、状況を見極め舵取りを行なっている。

■村木 ルイ氏

革小物請負職人、革業界をもうちょっと面白くするがコンセプトのイベント「本日は革日和♪」主宰、一般社団法人日本皮革産業連合会のブログ執筆など、レザーワークコーディネーターとして多岐にわたって活動。

FAX:06-6210-9505

＜申込先＞大阪府商工労働部 中小企業支援室 商業振興課 商業振興グループ
2023(令和5)年度 皮革業界総合研修＜後期コース＞受講申込書

年 月 日

□会社名

□今後皮革業界で開業又は従事しようとする方
(従事先がない方は、こちらに☑を記入してください)



業種： 製造・製造卸・製造小売・卸・卸小売・小売・その他()
役職等： 企業経営者・企業役員・従業員(製造部門)・従業員(販売部門)・従業員(総務部門)
その他() (該当する業種、役職等を○で囲んでください)

フリガナ 受講者氏名(必須)	
所属部署名	
役職名	
住所(必須) ※修了証書送付先	〒 自宅 or 勤務先(該当に○印)
TEL(必須)	
E-mail(必須)	
FAX	

※TELは、日中に連絡の付く電話番号を記載してください。

※E-mail、FAXもご記入ください。

※ご記入いただいた個人情報は主催者(共催者)が管理し、今年度の研修及び次年度以降の本研修のご案内、類似のセミナーのご案内等に使用し、本事業の実施目的以外には使用しません。

受講希望欄に○印をしてください

	テーマ	日程	受講希望 (○印)
1	皮革・革製品のサステナビリティ	12/13(水)	
2	天然皮革～知っておきたい基礎知識～	1/16(火)	
3	これだけは知っておきたい革の特性	1/23(火)	
4	[講義/工場見学]皮革のできるまで	2/6(火)	
5	「かわ」とサステナビリティ	2/9(金)	
6	経営の合理化について	2/13(火)	

※ 申込締切は各開催日の1週間前までとし、先着順で受け付けます。但し、定員に達した場合には、その時点で締め切らせていただきます。2/6(火)の工場見学に参加いただく方には、別途詳細案内を通知します。その他の講座については、受験票の送付などの連絡はしませんので、受付不可の旨の連絡がない限り、当日現地にお越しください。

※ 工場見学については、1社からの申込は2名までとします。

※ 上記工場見学以外の講座については1社から複数名のお申込みは可能ですが、定員を超えた申込みがあった際には、1社あたりの参加人数を調整させていただく場合がございますので、ご了承ください(別途連絡します)。